

平成16年9月29日

報道機関 各位

情報化推進部情報企画課長
河野 登

2004年度後期 広島大学留学生センター日本語研修コース開 講式について

下記のとおりおこないますので、ご案内いたします。

記

日時 平成16年10月13日(水)11時～
場所 広島大学教育学部 第3・第4会議室
東広島市鏡山1丁目1番1号

(日本語研修コース概要)

日本語研修コースは、大学院に進学する留学生に対し、大学院での研究生活に必要な基礎知識・能力を養成するために、日本語・日本文化に関する集中的な教育を施すものです。

広島大学では、昭和60年(1985年)に学生の受け入れを開始し、平成2年(1990年)に留学生センターが設立されてからは、留学生センターが実施しています。

4月から9月までと、10月から翌年3月までの年2期ずつ受け入れています。授業は、文法・文型、聴解、読解、文字などの日本語授業を中心に、日本文化、異文化理解、専門用語解説などの授業を組んでいます。1期あたりの授業期間は18週、総時間数は540時間です。期間の初めと終わりに、それぞれ開講式と修了式を行います。今期は第39期目で、13カ国から20名が研修します。

なお、今回、文部科学省からの要請を受け、身体に障害を持つ(車椅子使用)ブラジルからの留学生を、広島大学が受け入れることとなりました。

彼は、ブラジルで高校の現職教師として教職に携わっていますが、この度、日本政府(文部科学省)奨学金留学生として採用され広島大学に留学することとなり、本年10月から1年半の留学期間中、日本語教育と共に、環境教育を学ぶこととなっています。

広島大学では、このたびの受け入れにあたり、彼が居住することとなる国際交流 会館をはじめとして、学内のバリアフリー体制について改めて点検を行い、受け 入れ環境を整えたところです。

また、文部科学省によりますと、今回採用となった日本政府奨学金留学生の中で 身体に障害をもつ留学生は彼一人であるとのこと。

【問い合わせ先】

広島大学留学生国際交流グループ
山田 尚子
TEL:082-424-6182
(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 1枚(本票含む)]